



2009-2010 年度



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

第 2690 地区ガバナー 葛尾 信弘

「ロータリーは地域と共に」

**平田ロータリークラブ 事務局**  
 〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
 Tel : 0853-63-3232 / Fax : 63-5365 / IP : 050-5204-5816  
 URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)  
**A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局**

会長 / 高砂 明弘 副会長 / 加藤 昇  
 幹事 / 小村 益造 会計 / 伊藤 義徳

**例会プログラム**

例会日	卓話者	演題
1月21日	米山奨学生 王 英絮 様	インドの旅
1月28日	宍道湖グリーンパーク 観察指導員 豊田 暁 様	ラムサール条約について
2月4日	IM実行委員会	IM全体会

**出席報告**

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
36	27	9 (4)	84.38 %	96.97 %

**欠席者**

福田 / 加藤昇 / 園 / 杉原朋 / 釜屋  
 (石原恵 / 山根 / 牧野 / 田中久)

**来訪者**

石田 (大社)

**メイクアップ**

なし

**次回例会受付当番**

(1月28日) 釜屋治男 / 大谷 孝 / 佐々木哲也

(2月4日) 平野順一 / 園 裕 / 園山 繁

**近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)**

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央RC 2/15(休)	月	松江南RC
火	出雲RC 2/2(休) 2/23	火	松江しんじ湖RC 2/2
水	大社RC	水	松江RC 2/3
金	出雲南RC 1/22	木	松江東RC 2/4

**会長挨拶**

原 孝士 直前会長

昨日の夕方、高砂会長から、加藤副会長とともども欠席するので、1月21日の例会には会長代理として務めていただきたいと思います。1月16～18日まで上京しておりました。

20年ほど前から、関東大学囲碁OB、OG大会が開かれております。私も大学時代に囲碁部に在籍し、関東囲碁選手権に毎年出場しておりましたので、この大会に出ることは昔の友人たちにお会いしたり、会話するのが大変楽しみの一つでした。16日には上野で前夜祭があり、美味しい料理とお酒で今年も元気で会えた喜びを噛みしめました。

17日9時30分から市ヶ谷の日本棋院の2階、3階を貸し切り、32の大学が参加して大会が開催されました。各校から13名の選手が参加して、オール互戦、持ち時間は45分というルールで戦いの火ぶたが切られました。私は、三将として出場し、慶応大にまけたが、横浜市大、山梨大、医科大学連合に勝ち、3勝1敗の好成績を上げることができ、楽しい一日を終えました。尚、優勝は本命の東大でした。

18日には島根印刷の東京支社により、社員たちに感謝の言葉と、今後の厳しい環境の中、激励して帰途に着きました。

東京はやはり悪いとは言っても活気があり、東京で頑張らないと当社の未来が無いと、改めて感じました。

**幹事報告**

1. 例会変更

松江東RC 2/4(木) 松江4RC合同例会  
 ビジター受付 12:00～12:30 ホテル一畑

2. 休 会

出雲中央RC 2/15(月) 定款第6条により  
 ビジター受付 なし

3. るんびにい苑、万田の郷様より歳末募金寄付の御礼状を頂きました。

**スマイル**

石田(大社) (本日は米山奨学生 王英絮さんをお招き頂きありがとうございました。)

高砂 (石田様、ようこそいらっしゃいました。本日よりよろしくお願いいたします。早退致します、原直前会長様よりよろしくお願いいたします)

大島卓 (大社クラブ石田会員様、ご来訪ありがとうございました。)

榎野 (大社クラブ石田様、米山奨学生王英絮様のご来訪を歓迎して。)

恒松 (石田さん、ようこそいらっしゃいました。平田クラブも米山へのご協力宜しくお願い致します。)

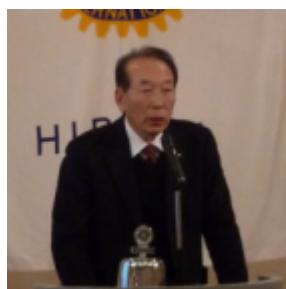
園 (高砂様、山根様、内田様、田中久様、田中支店長様、昨夜はありがとうございました。)

**スピーチ・例会行事**

カウンセラー

石田 晴吾 様

米山奨学生 王 英絮 様の  
 ご紹介



**「インドの旅」**

米山奨学生 王 英絮 様

皆さんこんにちは。今日は例会にお招きいただきありがとうございます。

私は王英絮と申します。4年前に島根大学大学院へ、中国の寧夏回族自治区の銀川市から留学して参りました。



島根大学では整形外科を専攻しています。もう少し詳しく説明しますと、骨製スクリューの研究及び太極拳を用いた、股関節周囲筋トレーニングによる変形性股関節症の保存的治療や高齢者の転倒防止等の研究をしています。

私の家族は歯科医師をしている主人と昨年大学医学部に入学をした娘。更に、両親と農業をしている兄と小学校の教師をしている姉の6人です。

おかげさまで、私は2008年4月から、ロータリー米山奨学生として、毎月奨学金をいただいて、勉強に励んでおります。そして、大社ロータリークラブには毎月、例会に出席して、カウンセラーの石田さんをはじめ、大社クラブの会員さんと親しく、交流させていただき、楽しく留学生活を送っています。私はロータリー米山奨学生になれて、奨学金のみならず、多くのロータリアンの方々と交流ができて、大変有意義な留学生活ができ、本当に感謝を致しております。

2008年岡山と2009年松江で二回の「地区会員大会」への参加をして、日本での思い出の一ページができて、嬉しく思っています。

さて、2009年は8月7日から9月27日まで、研修のため、インドを訪問した時のお話をさせていただきます。インドへは、担当准教授の森先生のアシスタントとして、御夫婦と一緒に参りました。初めに、インドの北方にある Bihar Raxaul Duncan Hospital で、先生の仕事をお手伝いいたしました。

この病院は、日曜日のみお休みで、1930年設立され、内科、外科、産婦人科、小児科、麻酔科、口腔科及びICUがあり、大きな総合病院にもかかわらず、お医者さんがたったの20人ぐらいいし勤務しておりません。毎年約6000名ぐらいの赤ちゃんが産まれ、小児科には平均30名ぐらいい程入院しています。産婦人科、小児科にはお医者さんがたった一人しか居りません。整形外科、リハビリテーションには専門医が一人も居りません。患者さんは皆、貧しくて、医療保険もないので、入院、手術治療ができないこともあります。大変暑い気候の中、病院には、ICUと手術室にエアコンがあるので、ほかの部屋は、全て扇風機でまかっています。

毎朝、7時に食堂でチャパティーと呼ばれる、小麦粉で作る無発酵の薄焼きパンやブーリーと呼ばれる、そのチャパティーを油で揚げたものを朝食として食べます。飲み物は紅茶と清潔な水です。

7:30から病院中の教会で英語とヒンディ語で30分ぐらいい程度聖書を勉強しています。それが終わると、お医者さんだけが残って、前日行われた重要な手術とか、患者さんについてのカンファレンスが行われます。普通の日は、午前9:30 - 13:30の間、午後は15:00 - 17:30の間が診療の時間です。森先生は外来患者の診療と手術を担当されていたため、大変忙しくて、お昼ご飯は遅くなることしばしばありました。現地には、魚と野菜が乏しく、豊富な食材はジャガイモ、鶏肉、豆類等です。お味の方は、塩味がよく効いて、とても美味しかったです。

毎週水曜日と金曜日の午後6時から、約1時間程度のドクターの医学講座が行われます。私は9月23日には、私の専門の中国の針灸、及びマッサージの治療方法をインドの先生に紹介を致しました。又、森先生の奥様、森利枝さんは、日本語を英語に通訳して、活躍されました。

私の主な仕事は、頸や肩や腰や腿が痛い患者さんの治療でした。悪性腫瘍、結核を除いて、これらの患者さんの治療には、中国から持ってきていた、針とか、灸治療を行いました。更にカップおよび耳穴刺激による漢方薬治療などを用いて、79名患者さんに、都合153回の治療を施しました。治療をした患者さんの中、一番は多かったのが腰痛で全体の約46%、その次は頸部が22%、第三番目は肩が16%、そして膝の痛みのある患者さんが10%程度の内訳でした。

予定の研修を終えて、帰る直前の9月29・30日二日間、ネパールのカトマンズ市内の観光地を回り、その後飛行機でヒマラヤを観光いたしました。実に雄大なヒマラヤはいまでも私の脳裡に鮮やかにのこっています。

約2ヶ月のインドへの研修旅行でしたが、この研修旅行は私にとって、感激と思い出がいっぱいの、インドへの旅となりました。旅行から帰って、振り返って見ますと今更ながら、米山奨学生に選ばれて良かったと感謝致しております。

ところで、ロータリークラブの皆様はご存知のことと思いますが、米山奨学会は、日本の民間奨学団体の中では最大の組織です。1952年以来、今日まで累計で14,500人の海外からの留学生に対し奨学金を支援しています。この支援を受けた留学生の約4000人が中国から来た留学生です。そしてその割合は全体の27.5%を占めております。それにも拘りませず、一番多い米山奨学生をもつ中国に、いまだに学友会がないことを、私は大変残念に思っておりました。

ところが、昨年3月28日に北京で米山記念奨学会、中国学友会の設立大会が開催されることを知りました。このニュースは2008-2009年の米山奨学生である私にとっては、最も心温まるニュースで、記念すべき春の贈り物となりました。これから先、私は中国へ帰国した後、中国国内ですでに働いていらっしゃる米山学友の皆さんと出会い、交流できることを、今から楽しみにいたしております。中国学友会の設立は、米山記念奨学生にとって、これまで夢でした。これまでのことを踏まえて、私は、ロータリー米山記念奨学会に関係しておられる皆様に感謝を申し上げます。

最後になりましたが、中国には次のような諺があります。「たとえ一滴の水でも受けた恩義は、湧き泉として報いるべき」と。これは中国人にとって忘れてはならない教訓です。

私は留学期間が後2ヶ月となりました。残されたわずかな期間ですが、大社ロータリークラブの皆さんと更に交流を深め、私の大切な人生のページにしたいと思っています。ロータリーと出逢えて本当に幸せでした。

これから後も、一生懸命に勉強に励み、是非皆様方の報いたいと決心しております。

本日はお招きにあずかり、

永らく、ご静聴ありがとうございました。